



---

# Dr.Web Desktop Security Suite Dr.Web Anti-virus for Windows Ver.10 インストールガイド

株式会社 Doctor Web Pacific

初版 : 2015/01/27

改訂 : 2016/10/24



## 目次

1. はじめに.....	3
1.1 ライセンス証書の受領.....	3
1.2 ライセンス証書に含まれる内容.....	3
2. 環境前提条件.....	3
3. 準備.....	4
3.1 インストール環境の確認.....	4
3.2 ファイル.....	4
3.3 その他注意事項等.....	5
4. インストール.....	6
5. インストール後の Dr.Web Anti-Virus の確認.....	11
6. ケーススタディ.....	12
6.1 管理モードへの変更.....	12
6.2 プロキシサーバーの設定.....	14
6.3 更新頻度の変更.....	16
6.4 更新されるコンポーネントの変更.....	17
6.5 隔離されたファイルの確認・復元.....	18
6.5.1 隔離されたファイルの確認.....	18
6.5.2 隔離されたファイルの復元.....	20
6.6 ファイルやプロセスの除外設定.....	21
6.6.1 SpIDer Guard、SpIDer Mail、SpIDer Gate の場合.....	21
6.6.2 Dr.Web Scanner の場合.....	22
6.6.3 業務用のアプリケーションが脅威として検知された場合.....	24
6.6.4 業務用のアプリケーションの起動等が遅くなった場合.....	24
6.7 通知設定の変更.....	25
6.8 ライセンス更新.....	26
6.9 アンチウィルスネットワーク.....	31
6.9.1 接続先の設定.....	31
6.9.2 リモートからの管理.....	32



この度は、株式会社 DoctorWebPacific の製品をご購入いただき、誠にありがとうございます。本ガイドは、初めて弊社製品をご利用いただくお客様向けに、弊社アンチウイルスソフトウェア(Dr.Web Anti-virus for Windows)をインストールいただくための手順を説明する資料となります。なお、詳細な機能や操作の説明に関しましては、製品マニュアルをご参照ください。

## 1. はじめに

### 1.1 ライセンス証書の受領

ライセンス証書は、Doctor Web Pacific(以下、DWP)または、DWP パートナー企業より、電子メールか郵送もしくはその両方の方法で、お客様へ送付いたします。

### 1.2 ライセンス証書に含まれる内容

ライセンス証書には、以下のライセンスに関する情報が記載されておりますので、大切に保管してください。

- customer (お客様情報)
- product(購入製品名)
- serial number(製品用キーコード)
- license term(ライセンス期間)
- protected objects (購入ライセンス数)

※ “My Dr.Web”につきましては、日本ではご利用できません。

## 2. 環境前提条件

本書は、下記の環境で動作確認の上作成しております。

- OS : Windows 7 (64bit)
- ブラウザ : Internet Explorer 11



### 3. 準備

#### 3.1 インストール環境の確認

➤ 他のアンチウイルスソフトウェアのアンインストール

Dr.Web Anti-virus for Windowsバージョン 10(以下、Dr.Web Anti-Virus)のインストールを実行される前に、インストール対象の PC に他のアンチウイルスソフトウェア(異なるバージョンの Dr.Web 製品含む)がインストールされていないことをご確認ください。

他のアンチウイルスソフトウェアがインストールされている場合、完全に削除(アンインストール)を実施後、DSS10 のインストールを実行してください。

➤ プロキシサーバーの利用

プロキシサーバーを利用している場合、プロキシサーバーのアドレス、ポート等プロキシサーバーを利用する際に必要な情報を確認してください。

※ メモリ、HDD 容量等については、インストールマニュアルを参照してください。

#### 3.2 ファイル

以下のファイルを用意してください。

インストールファイルおよび Key ファイルの入手方法については、「Dr.Web ダウンロード&アクティベーションガイド」を参照してください。

1) インストーラー

Windows 用のインストールファイルを用意し、インストール対象の PC にコピーしてください。

※ お持ちのライセンスによっては、2 種類の Dr.Web Anti-Virus がダウンロード可能です。

➤ Dr.Web Desktop Security Suite, Anti-Virus, Dr.Web anti-virus for Windows

利用可能な機能 : SpIDer Guard(常駐保護)、スキャナー、Dr.Web Firewall 等

➤ Dr.Web Desktop Security Suite, Complex protection

利用可能な機能 : SpIDer Guard(常駐保護)、スキャナー、Dr.Web Firewall、SpIDer Mail、SpIDer Gate 等

2) Key ファイル

インストール対象の PC にコピーしてください。



### 3.3 その他注意事項等

➤ 環境復元ソフトがインストールされている場合

環境復元ソフトがインストールされている場合、環境復元ソフトを停止した状態(復元機能が実行されない状態)でインストールを実施してください。インストール完了後は、更新の設定において「データベースのみ」に変更してください。

また、正常に定義ファイルの更新が行われている状況においても「Dr.Web ウィルスデータベースが最新ではありません」、「コンピューターが脅威に晒される可能性があります」等のメッセージが表示されることがありますが、実際にはディスク内の定義ファイルが読み込まれております。

ディスク内の定義ファイルの状態につきましては、[ツール]-[サポート]-[詳細]から「プログラムについて」ウィンドウに表示された「ウィルスデータベース」よりご確認ください。

※ drwtoday.vdb の日付をご確認ください。

➤ URL フィルタリングソフトがインストールされている場合

URL フィルタリングソフトがインストールされている場合、ホームページの閲覧等ができなくなる場合があります。その際は、SpIDer Mail、SpIDer Gate、Dr.Web for MS Outlook をアンインストールしてください。

#### 4. インストール

- 1) インストール対象の端末にコピーした、インストールファイルを実行する。
- 2) 「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されたら、「はい」ボタンをクリックする。



図 1. ユーザーアカウント制御

※ プログラムが実行されると、下記の画像が表示されます。



図 2. プログラム開始

- 3) 以下の画面が表示されたら、ライセンス契約を確認の上、「ライセンス規約に同意します」のチェックボックスにチェックを入れ、「次へ」ボタンをクリックする。



図 3. ライセンス同意

- 4) 「FireWall」の画面が表示されたら、**必要に応じて**、「Dr.Web Firewall をインストールする」にチェックを入れ、「次へ」ボタンをクリックする。

《注意》Dr.Web Firewall は、**通信の全てを遮断し、PC 利用者の許可によって個々の通信の可否を設定する機能**です。設定には、PC やインターネット、ネットワークに関する知識が要求されますので、全体のセキュリティ対策状況を考慮の上、Dr.Web Firewall のインストールをご判断ください。



図 4. ファイアウォール機能選択

- 5) 「Dr.Web Cloud」の画面が表示されたら、「サービスに接続します」もしくは「後で決定します」のいずれかを選択し、「次へ」ボタンをクリックする。
- ※ 「サービスに接続します」を選択した場合でも、個人情報には送信されません。



図 5. Dr.Web Cloud

- 6) 「登録ウィザード」の画面が表示されたら、「有効なキーファイルのパスを指定する」にチェックを入れ、「参照」ボタンをクリックし、予め PC 上に保存した Key ファイルを選択し、「次へ」ボタンをクリックする。



図 6. ライセンス登録

- 7) 「インストールの準備ができました」画面が表示されたら、「インストール」ボタンをクリックする。  
《注意》クリックする前に、必ず他のアンチウイルスがインストールされていないことを確認してください。



図 7. インストール開始

※ 「インストールパラメータ」をクリックすると、インストールコンポーネント等の確認ができます。

- 8) インストールが開始します。



図 8. インストールプロセス

- 9) 「インストールが完了しました」と画面に表示されたら、「すぐに再起動」ボタンをクリックする。
- ※ PC が再起動した後に、Dr.Web Anti-Virus が動作を開始(有効化)されます。

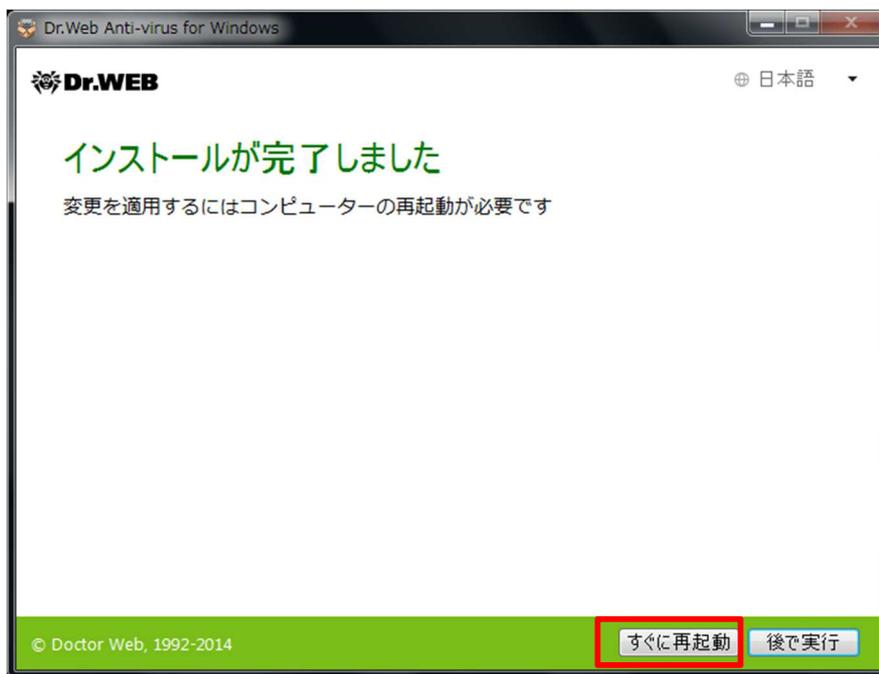


図 9. インストール完了 - 再起動要求

## 5. インストール後の Dr.Web Anti-Virus の確認

インストールされた Dr.Web Anti-Virus は、デスクトップ画面の右下の常駐アイコンにて表示されます。

Dr.Web Anti-Virus の常駐アイコンが、以下のような状態でしたら問題なく動作しています。

- ※ Dr.Web Anti-Virus のアイコンが見当たらない場合は、△マークをクリックして、隠れているインジケーター内を確認してください。

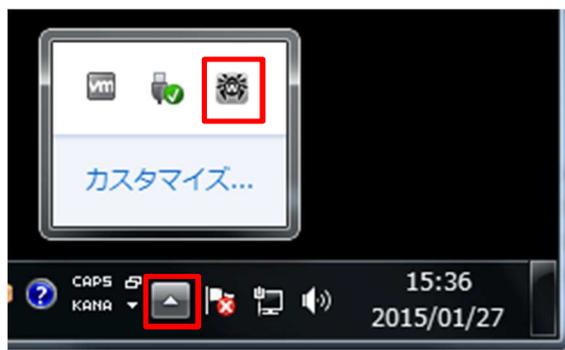


図 10. Dr.Web Anti-Virus アイコン(1)

- ※ インストール直後や PC 起動直後は、Dr.Web サーバーとの通信量が多いため、有効になるまで時間がかかります。以下のような状態の場合には、少し時間を置いてから、再度ご確認ください。

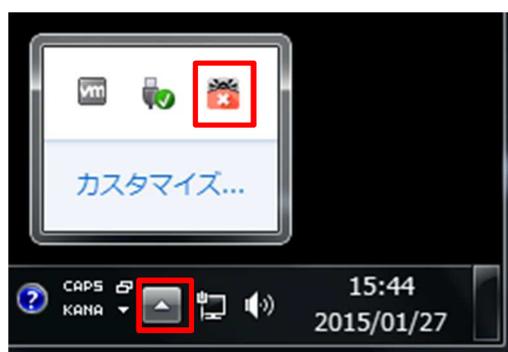


図 11. Dr.Web Anti-Virus アイコン(2)

## 6. ケーススタディ

### 6.1 管理モードへの変更

- 1) Dr.Web Anti-Virus の常駐アイコンをクリックする。

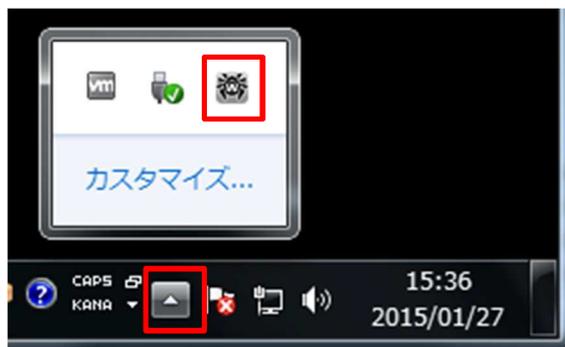


図 12. Dr.Web Anti-Virus アイコン

- 2) 表示されたメニューの「錠」アイコンをクリックする。



図 13. 「ユーザーモード」メニュー

- 3) 「ユーザーアカウント制御」の画面で、「はい」ボタンをクリックする。



図 14. ユーザーアカウント制御

- 4) 再度 Dr.Web Anti-Virus の常駐アイコンをクリックする。  
5) 表示されたメニューの「錠」アイコンが、開いた状態であることを確認する。



図 15. 「管理モード」メニュー

## 6.2 プロキシサーバーの設定

- 1) Dr.Web Anti-Virus を管理モードに変更する。
- 2) 「管理モード」メニューを表示し、「歯車」アイコンをクリックする。



図 16. 「管理モード」メニュー

- 3) 「設定」画面が表示されたら、「メイン」をクリックする。



図 17. 設定

- 4) 「メイン」画面から「ネットワーク」をクリックし、「プロキシサーバを使用する」を「オン」に変更する。



図 18. [メイン]-[ネットワーク]

- 5) 「プロキシサーバのパラメータ」画面が表示されるので、プロキシサーバのアドレスやポート等を入力し、「OK」ボタンをクリックする。



図 19. プロキシサーバのパラメータ

- 6) 「メイン」画面にて、以下を確認し閉じる。
- 「プロキシサーバーを使用する」が「オン」に変更されたこと。
  - 指定したプロキシサーバーのアドレス



図 20. [メイン]-[ネットワーク]

### 6.3 更新頻度の変更

Dr.Web Anti-Virus では、ウイルス等のデータベースやコンポーネント等の更新頻度を初期値の 30 分から変更することができます。

- 1) Dr.Web Anti-Virus を管理モードに変更する。
- 2) 「管理モード」メニューを表示し、「歯車」アイコンをクリックする。
- 3) 「設定」画面が表示されたら、「メイン」をクリックする。
- 4) 「メイン」画面から「更新」をクリックする。
- 5) 「更新頻度」のプルダウンリストから、設定したい更新頻度を選択し閉じる。



図 21. [メイン]-[更新]

#### 6.4 更新されるコンポーネントの変更

Dr.Web Anti-Virus では、ウイルス等のデータベースのみを更新するように設定することができます。

- 1) Dr.Web Anti-Virus を管理モードに変更する。
- 2) 「管理モード」メニューを表示し、「歯車」アイコンをクリックする。
- 3) 「設定」画面が表示されたら、「メイン」をクリックする。
- 4) 「メイン」画面から「更新」をクリックする。
- 5) 「アドバンス設定」をクリックする。



図 22. [メイン]-[更新]

- 6) 「更新されるコンポーネント」で「データベースのみ」を選択し、閉じる。



図 23. [メイン]-[更新](アドバンス設定)

## 6.5 隔離されたファイルの確認・復元

### 6.5.1 隔離されたファイルの確認

- 1) Dr.Web Anti-Virus を管理モードに変更する。
- 2) 「管理モード」メニューを表示し、「ツール」をクリックする。



図 24. 「管理モード」メニュー

- 3) 「ツール」メニューから、「隔離マネージャ」をクリックする。



図 25. 「ツール」メニュー

- 4) 「隔離マネージャ」画面が開き、隔離されているファイルの一覧が表示される。

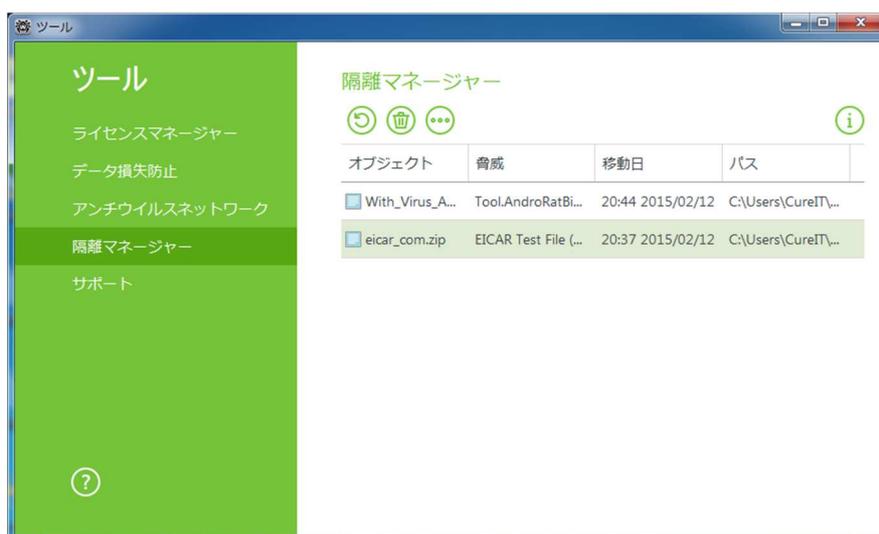


図 25. 隔離マネージャ

## 6.5.2 隔離されたファイルの復元

- 1) 6.5.1 の手順にて「隔離マネージャ」を開く。
- 2) 復元したいファイルを選択し、「復元」アイコンをクリックする。

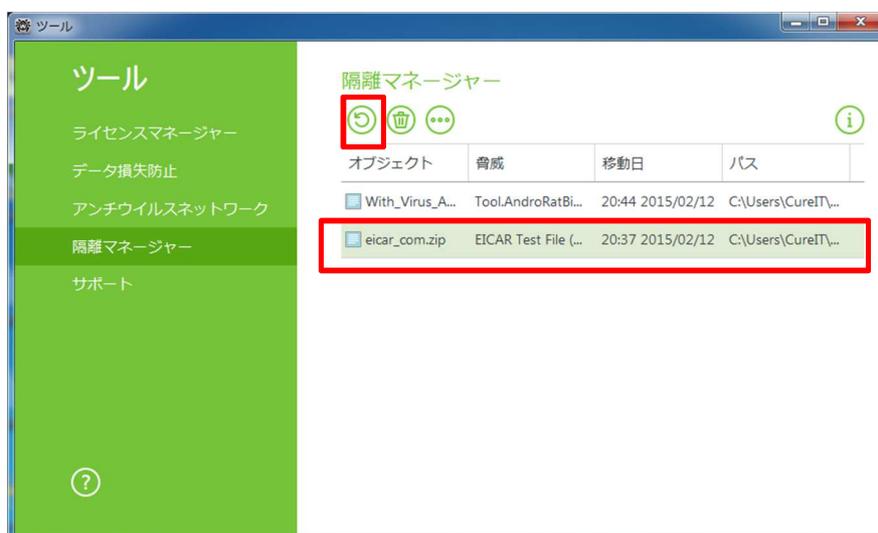


図 26. 隔離マネージャ

- 3) 「隔離から復元」画面が表示されるので、表示されている内容を確認し、「復元」ボタンをクリックする。



図 27. 隔離から復元

## 6.6 ファイルやプロセスの除外設定

### 6.6.1 SpIDer Guard、SpIDer Mail、SpIDer Gate の場合

- 1) Dr.Web Anti-Virus を管理モードに変更する。
- 2) 「管理モード」メニューを表示し、「歯車」アイコンをクリックする。
- 3) 「設定」画面から「除外」をクリックする。



図 28. 設定

- 4) 「除外」画面が表示される。

※ ご利用のライセンスにより、表示される項目が異なります。

- ファイルとフォルダの除外

「除外」画面から、「ファイルとフォルダ」を開き、「+」アイコンをクリックして、除外したいファイルやフォルダを指定する。



図 29. [除外]-[ファイルとフォルダ]

➤ プログラムとプロセスの除外

「除外」画面から、「プログラムとプロセス」を開き、「+」アイコンをクリックして、除外したいプログラムを指定する。



図 30. [除外]-[プログラムとプロセス]

### 6.6.2 Dr.Web Scanner の場合

- 1) デスクトップ上の「Dr.Web Scanner」をダブルクリックする。  
※ 「ユーザーアカウント制御」の画面が表示された場合は、「はい」をクリックしてください。
- 2) 「Dr.Web Scanner」の画面で、「スパナ」アイコンをクリックする。



図 31. Dr.Web Scanner

- 3) 「設定」画面が表示されたら、「除外」をクリックする。

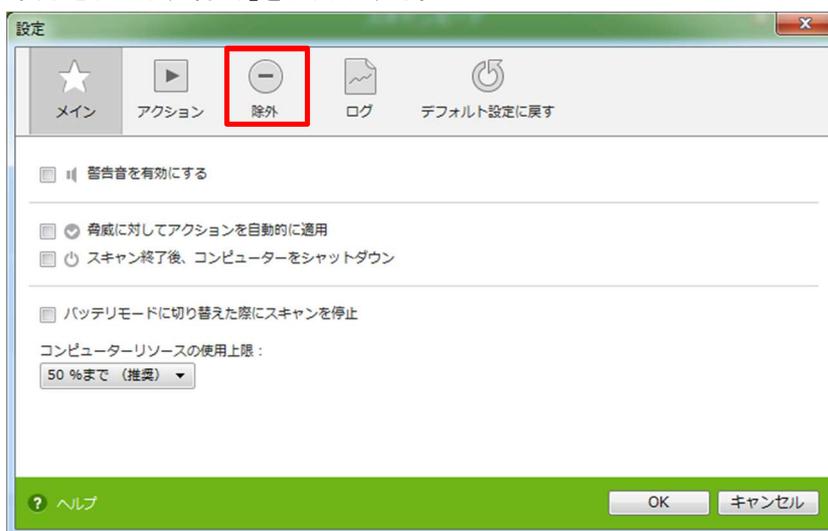


図 32. 設定(Dr.Web Scanner)

- 4) 「参照」ボタンをクリックし除外するファイルやフォルダを指定した後、「追加」ボタンをクリックして登録する。

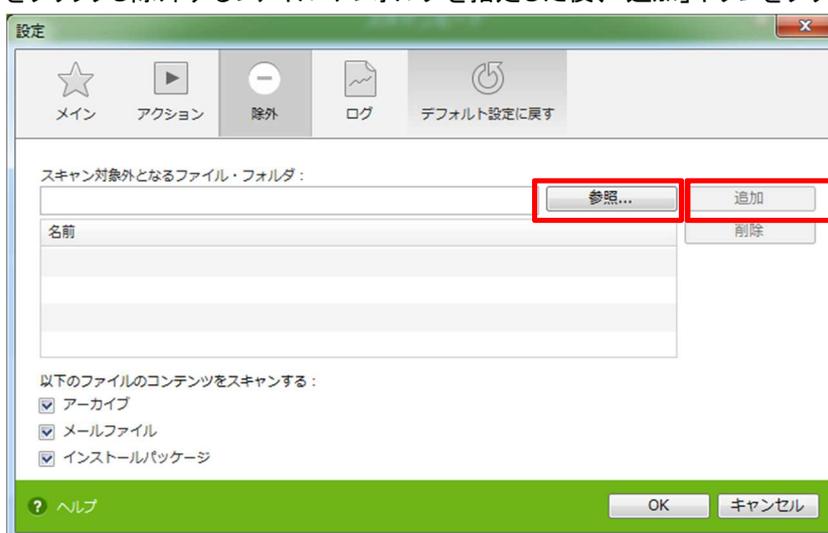


図 33. [設定]-[除外](Dr.Web Scanner)



### 6.6.3 業務用のアプリケーションが脅威として検知された場合

業務用アプリケーションが脅威として検知された場合、検知されたファイルを下記 URL より弊社にご送付ください。弊社にて確認後、誤検知であった場合には、検出されないよう対処します。

[https://support.drweb.co.jp/support\\_wizard/](https://support.drweb.co.jp/support_wizard/)

※ プログラムのバージョンが変更となった後、再度検出された場合は、当該ファイルをお送りください。上記の弊社対応には時間をいただきますので、ファイルを弊社にお送りいただくとともに、6.6.1 および 6.6.2 を参照していただき、SpIDer Guard と Dr.Web Scanner の除外設定を行なっていただけますようお願いいたします。

#### ➤ SpIDer Guard

当該ファイルを「ファイルとフォルダ」および「プログラムとプロセス」に登録してください。

#### ➤ Dr.Web Scanner

当該ファイルを「スキャン対象外となるファイル・フォルダ」に登録してください。

### 6.6.4 業務用のアプリケーションの起動等が遅くなった場合

業務用アプリケーションの起動等が明らかに遅くなった場合、SpIDer Guard によるリアルタイムスキャンが影響している可能性があります。

その場合は、6.6.1 を参照していただき、SpIDer Guard の除外設定を行なっていただけますようお願いいたします。

”プログラムとプロセス” : 起動等が遅くなったアプリケーションの実行ファイル等を指定

※ 複数ある場合は、複数の実行ファイルをフルパスで指定してください。

”ファイルとフォルダ” : 起動等が遅くなったアプリケーションのワークフォルダ、テンポラリフォルダやログファイル等を指定

#### 《事例》

事 象 : Dr.Web Agent インストール後から、TWAIN ドライバを使用しているスキャナの取り込みが非常に遅くなった。

原 因 : スキャナ取り込み時に TWAIN.LOG ファイルが更新されるが、その更新の都度 SpIDer Guard によるスキャンが実行される為。

対 処 : TWAIN.LOG ファイルを SpIDer Guard が除外する”ファイルとフォルダ”に登録する。

登録例 : C:\Users\¥\*¥AppData\Local\Temp\¥TWAIN.LOG

※ Windows7 や Windows8 の場合

## 6.7 通知設定の変更

- 1) Dr.Web Anti-Virus を管理モードに変更する。
- 2) 「管理モード」メニューを表示し、「歯車」アイコンをクリックする。
- 3) 「設定」画面が表示されたら、「メイン」をクリックする。
- 4) 「メイン」画面から「通知」を開き、「通知のパラメータ」ボタンをクリックする。
  - ※ 「通知」を無効にしたい場合は、「通知をデスクトップに表示」と「通知をメールで送信」を「オフ」にしてください。



図 34. [メイン]-[通知]

- 5) 「通知のパラメータ」画面にて、通知タイプと通知方法を選択する。

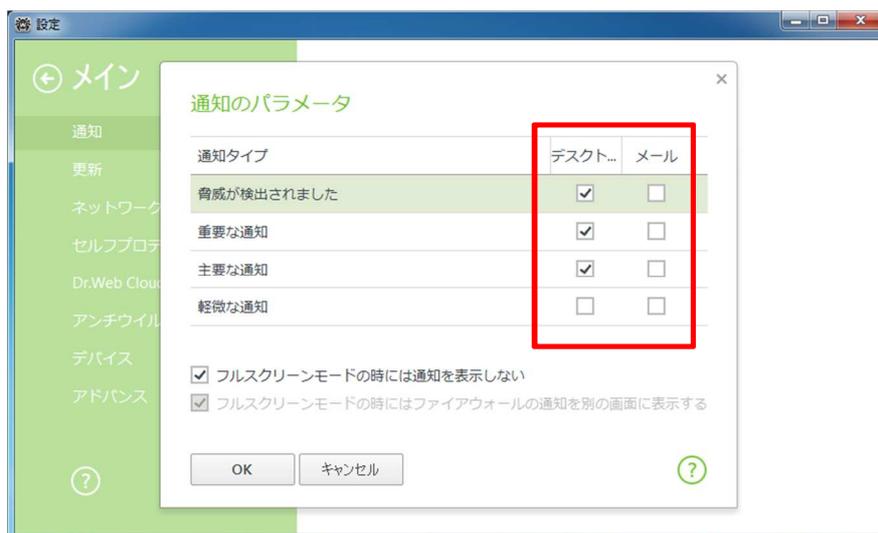


図 35. 通知のパラメータ

## 6.8 ライセンス更新

※ 更新されたライセンスキーファイルを用意した上で実施してください。

- 1) Dr.Web Anti-Virus を管理モードに変更する。
- 2) 「管理モード」メニューを表示し、「ライセンス」をクリックする。



図 36. 「管理モード」メニュー

- 3) 「ライセンスマネージャ」画面が表示されたら、「新しいライセンスを取得」ボタンをクリックする。

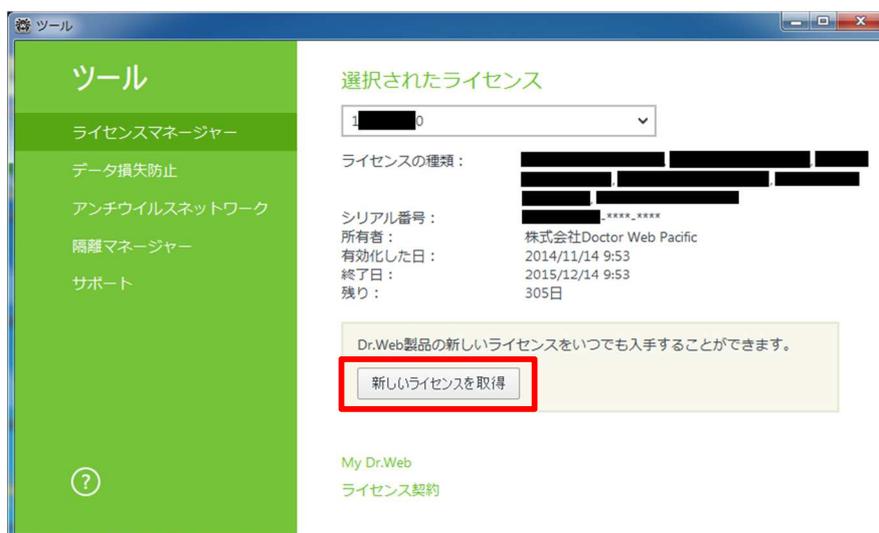


図 37. ライセンスマネージャ

- 4) 「登録の種類」画面が表示されたら、「他の種類の有効化」をクリックする。

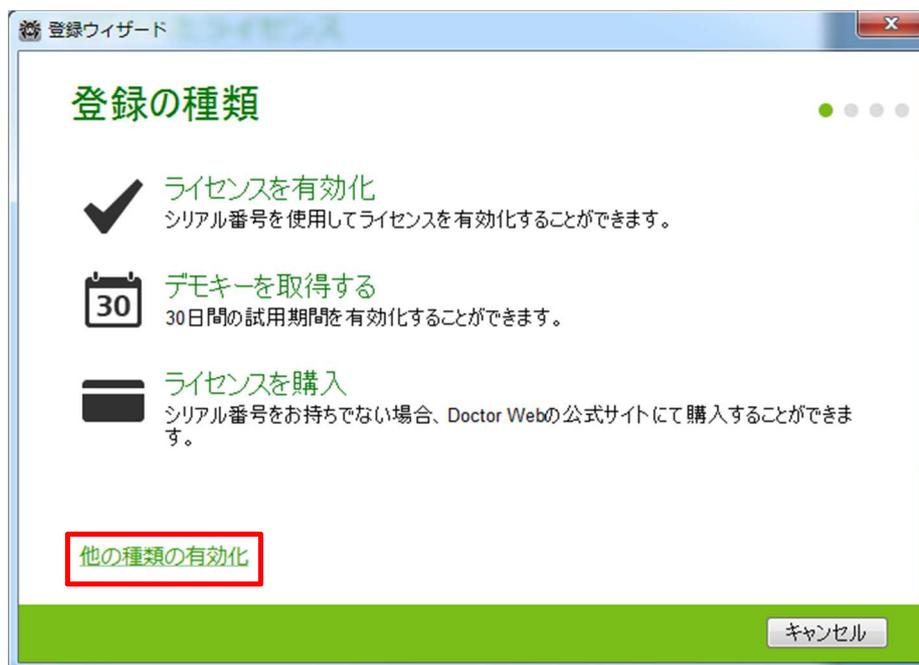


図 38. [登録ウィザード]-[登録の種類]

- 5) 「キーファイル」画面が表示されたら、「参照」ボタンをクリックし、更新されたライセンスキーファイルを指定する。

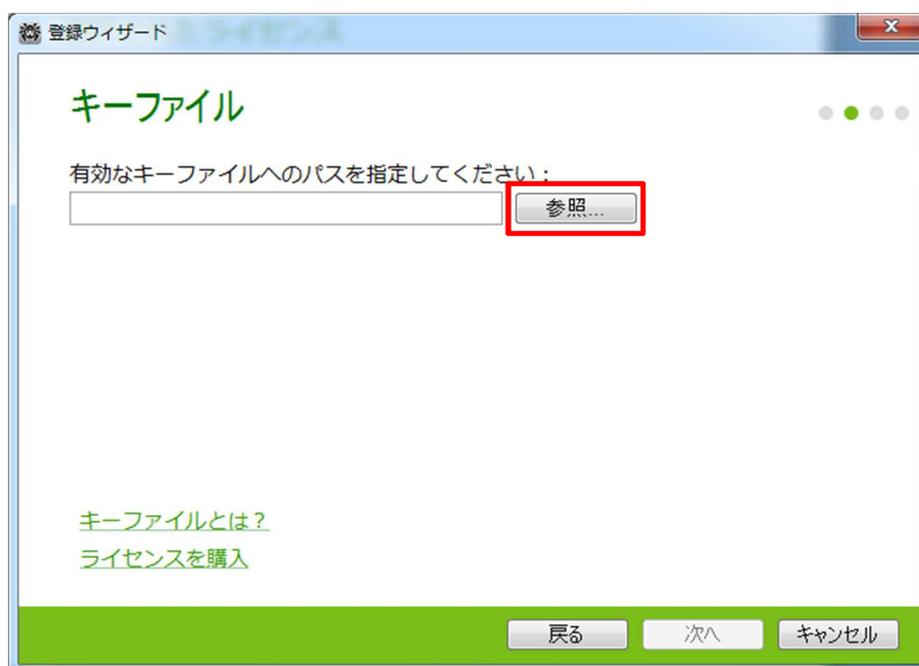


図 39. [登録ウィザード]-[キーファイル]

- 6) キーファイルを指定し、表示された所有者情報、終了日等の情報に誤りがないことを確認し、「次へ」ボタンをクリックする。



図 40. [登録ウィザード]-[キーファイル]

- 7) 「ライセンスが有効化されました」と表示されたら、「完了」ボタンをクリックする。

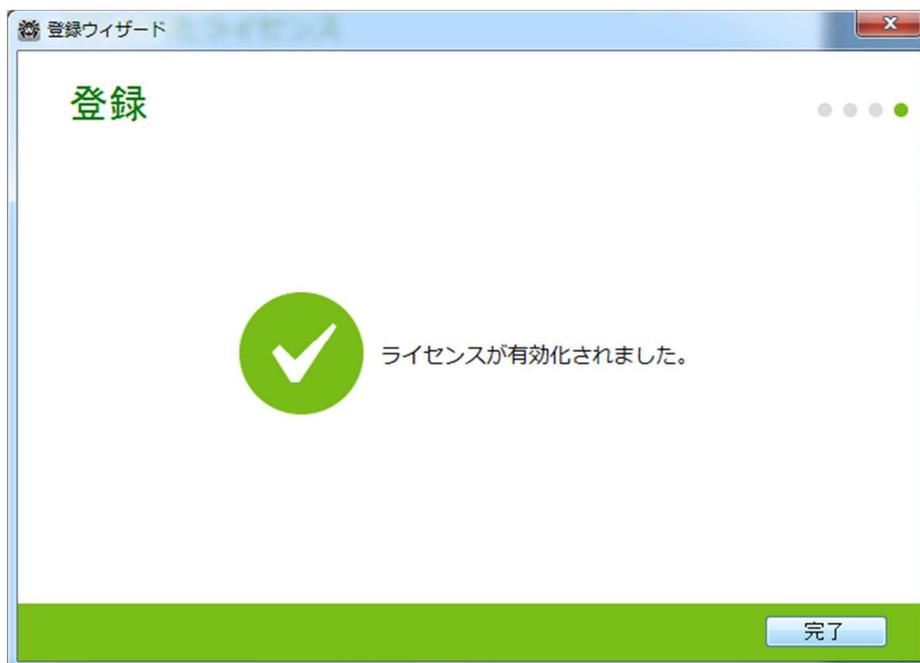


図 41. [登録ウィザード]-[登録]

- 8) 「ライセンスマネージャ」画面が表示されたら、新しいライセンスが登録されたことを確認する。

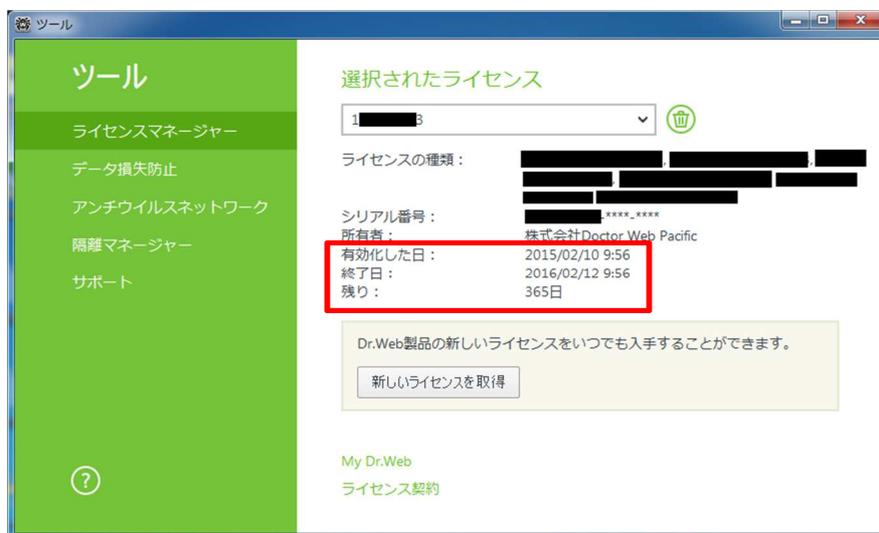


図 42. ライセンスマネージャ

※ 以降は、以前のライセンスの削除の手順になります。誤って、更新されたライセンスを削除しないよう、注意してください。

- 9) 「選択されたライセンス」をクリックし、表示されたリストから以前のライセンスを選択する。  
10) 「ごみ箱」アイコンをクリックする。

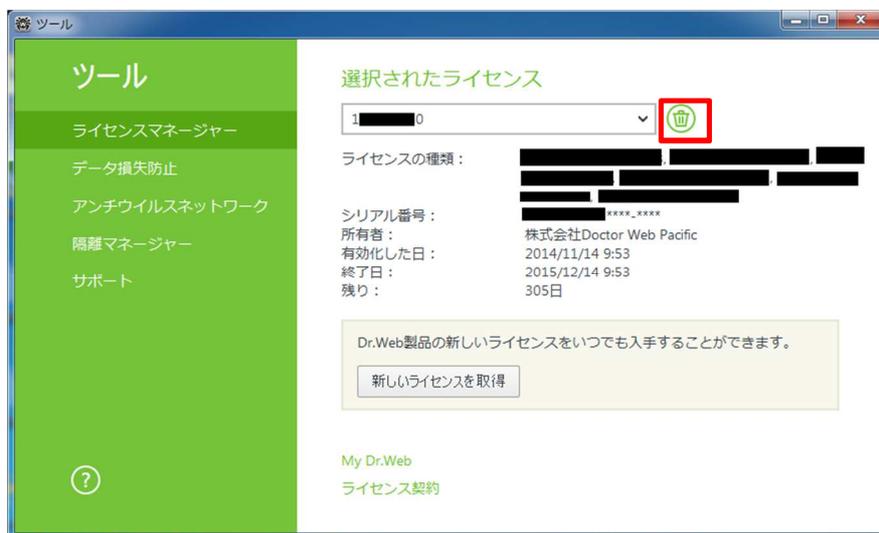


図 43. ライセンスマネージャ

11) 「確認」画面が表示されたら、「OK」ボタンをクリックする。

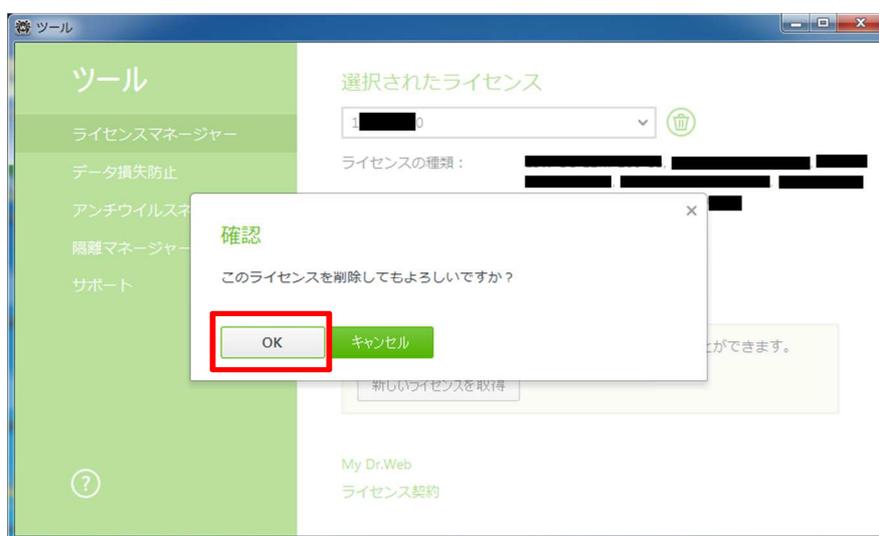


図 44. 確認(ライセンスマネージャ)

12) 「ライセンスマネージャ」画面が表示されたら、表示されている内容を再度確認し閉じる。

- ※ ライセンスの終了日が更新されたライセンスのものか確認してください。
- ※ ライセンスが一つのみ登録されている状態では、ごみ箱アイコンは表示されません。



図 45. ライセンスマネージャ

## 6.9 アンチウイルスネットワーク

この機能を用いると、Dr.Web Anti-Virus がインストールされた端末から、他の Dr.Web Anti-Virus がインストールされた端末の設定を変更することができます。

※ 同一のバージョンを使用してください。

設定を行なう前に、Windows ファイアウォール(もしくは同等の機能を有するソフトウェア)の設定で、udp の 55566 と tcp の 135(RPC)、プライベートポート番号の通信が許可されているかご確認ください。

尚、アクセス元端末には、「Dr.Web Desktop Security Suite, **Complex protection**」をインストールしてください。「Dr.Web Desktop Security Suite, **Anti-Virus**」では、アクセス元となれません。

### 6.9.1 接続先の設定

- 1) Dr.Web Anti-Virus を管理モードに変更する。
- 2) 「管理モード」メニューを表示し、「歯車」アイコンをクリックする。
- 3) 「メイン」画面から「アンチウイルスネットワーク」を開き、以下を設定する。

- 「リモート管理を有効にする」を「オン」に変更
- コード

他の端末から接続時のパスワードとなります。

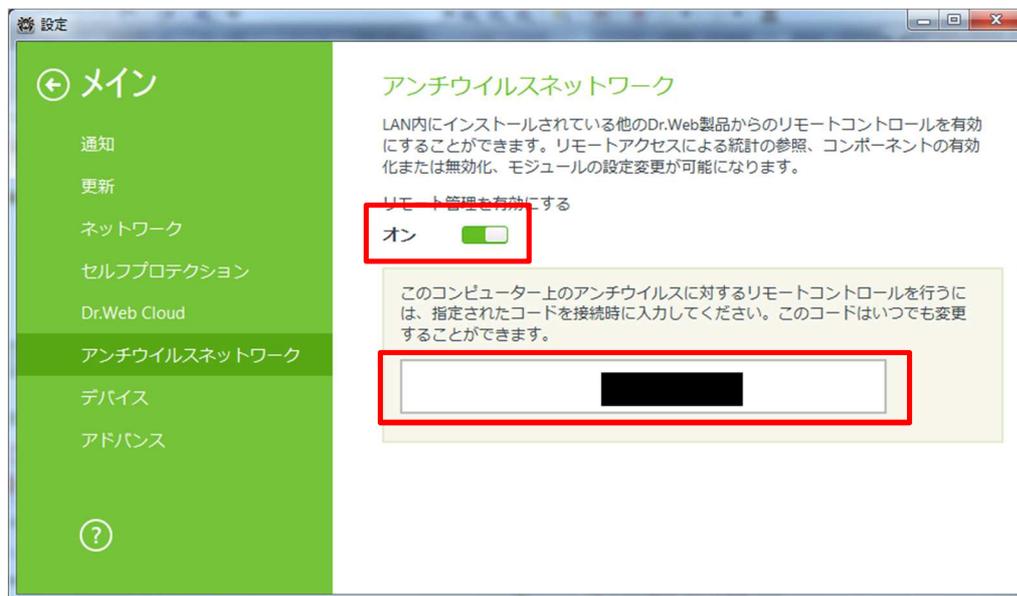


図 46. アンチウイルスネットワーク

- 4) 画面を閉じる。

## 6.9.2 リモートからの管理

- 1) アクセス元の端末の Dr.Web Anti-Virus を管理モードに変更する。
- 2) 「管理モード」メニューを表示し、「ツール」をクリックする。



図 47. 「管理モード」メニュー

- 3) 「アンチウイルスネットワーク」をクリックする。



図 48. 「ツール」メニュー

4) 「見つかったコンピューター」の画面が表示される。

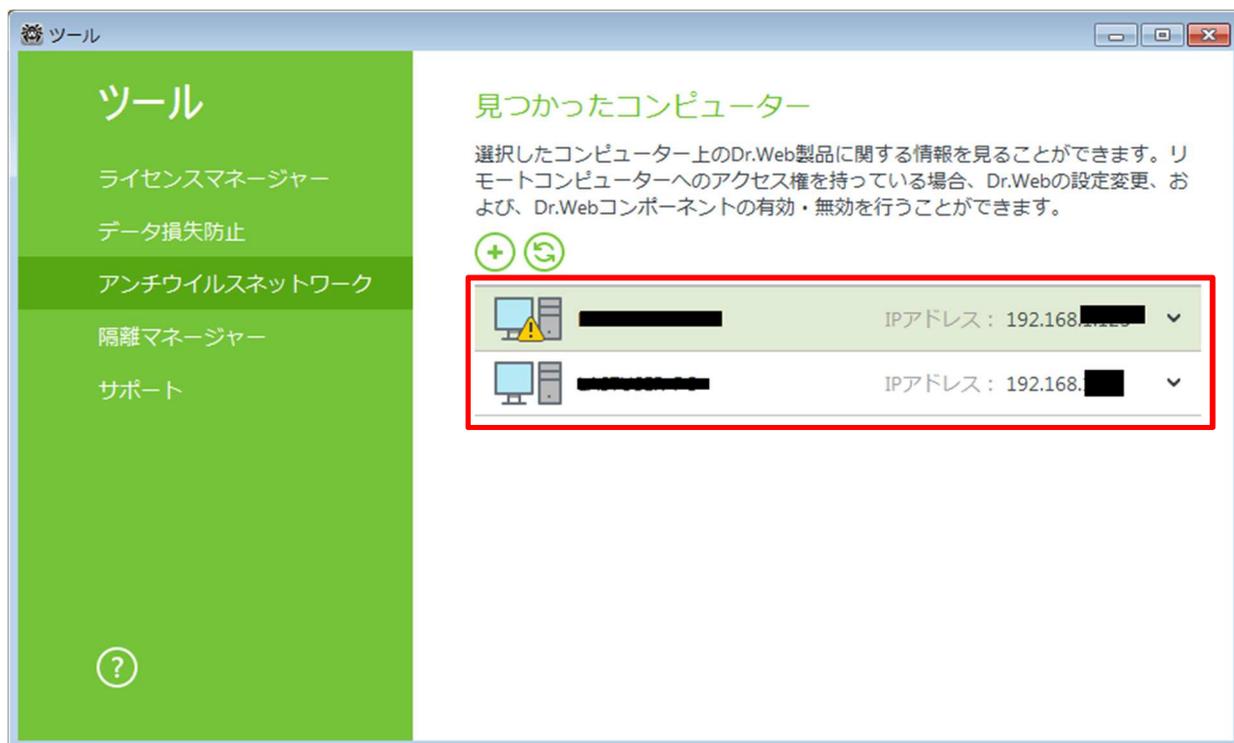


図 49. 見つかったコンピューター(1)

5) 接続したい PC をクリックし、展開された画面の「接続」ボタンをクリックする。

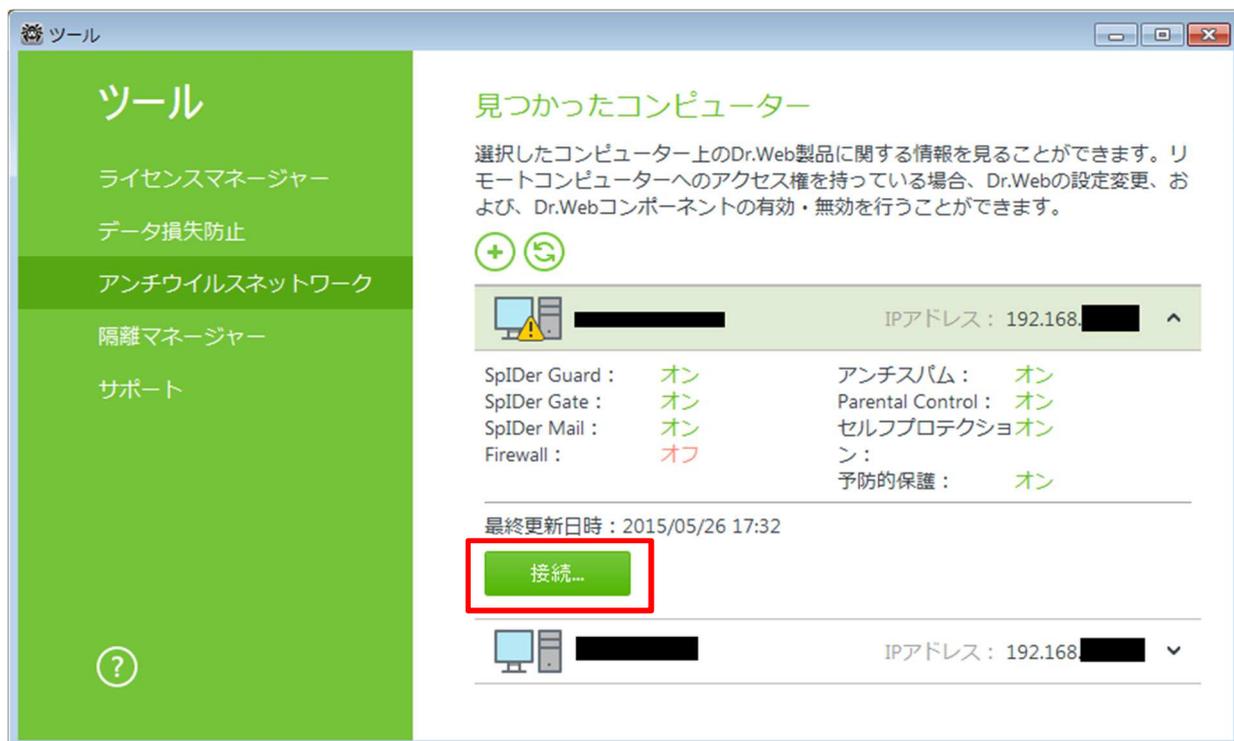


図 50. 見つかったコンピューター(2)

6) パスワードを入力し、「OK」をクリックする。

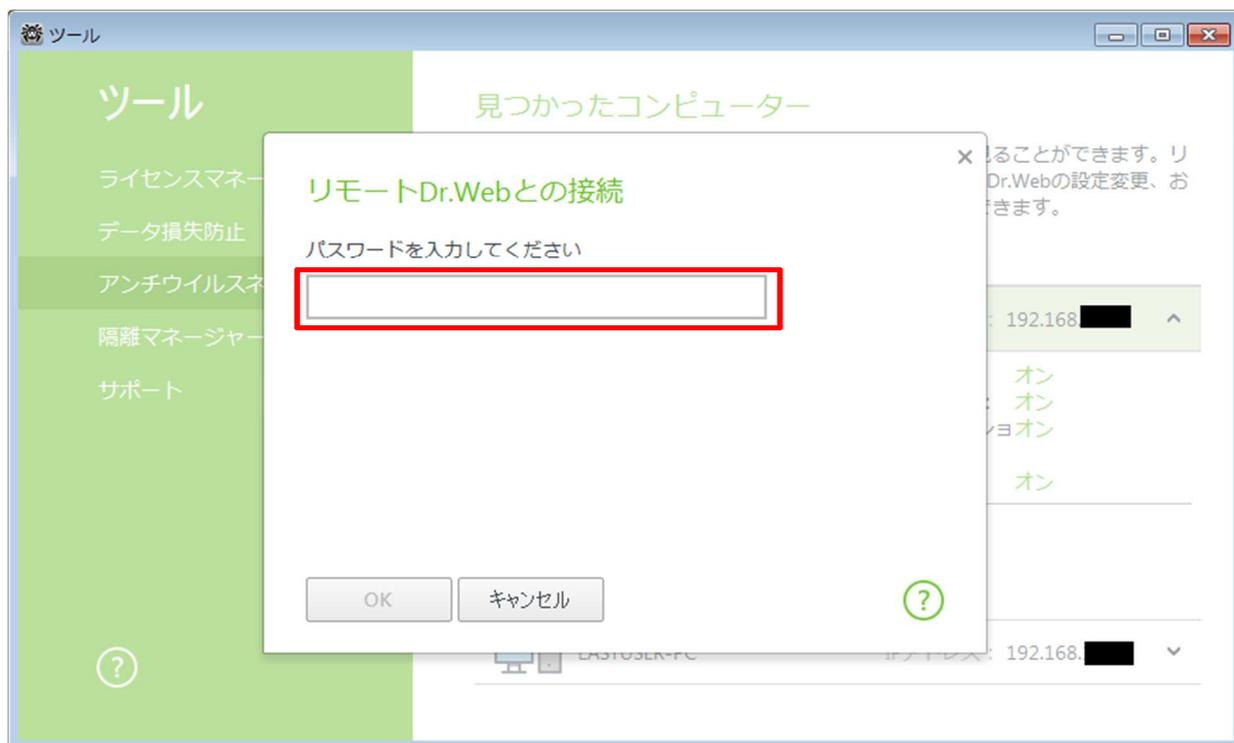


図 51. リモート Dr.Web との接続

7) 接続すると右下に「接続が成功しました」と表示される。

※ 接続先の PC 名と IP アドレスも表示されます。



図 52. 接続成功

- 8) タスクトレイ内の水色の Dr.Web アイコンをクリックすると、アンチウイルスネットワークで接続した端末のメニューが表示される。
- ※ グレー(灰色)の Dr.Web アイコンは、接続している端末自身のものです。

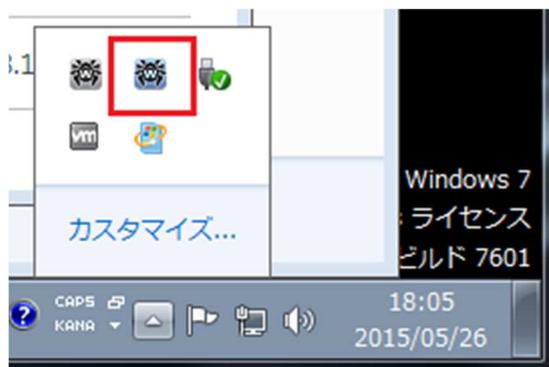


図 53. タスクトレイアイコン

- 9) 終了する際は、下図の赤枠の箇所をクリックする。



図 54. メニュー (アンチウイルスネットワーク接続時)



---

お使いの製品の詳細な機能の説明や、利用方法は、各製品マニュアルをご参照ください。また、製品のご利用について、ご質問やトラブル等がありましたら、ライセンス証書と併せてお送りしているサポート窓口まで、お気軽にお問い合わせください。

株式会社 Doctor Web Pacific

〒210-0005 神奈川県川崎市川崎区東田町 1-2NKF 川崎ビル 2F

TEL:044-201-7711 FAX:044-201-7712

URL: [www.drweb.co.jp](http://www.drweb.co.jp)